

公表 事業所における自己評価結果 （児童発達支援）

事業所名 ごえん黒崎

公表日 2025年11月7日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			・活動や利用児の状況に応じて利用するスペースを分けています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2		・法令に基づいた人員の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	9			・車いすでも移動できる構造となっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1		・月1回ミーティングを行っています。 ・業務上で気になる点が出てきたら、職員間で話し合っています。	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・保護者の意見に関しては真摯に受け止めて、必要であれば業務改善につなげるよう努めています。	
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価表を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		・年1回、ホームページに掲載するようにしています。保護者の意見に関してもsんしに受け止めています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1	・外部の方は業務中誰でも入れるようにしています。	・現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。 ・町内会との関係はあります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・月1回事業所内での研修は行っています。外部研修の広報も行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		3	・家族や本人から現状の情報共有をしたり、直接支援者の意向も聞き入れた計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		・体力測定や、質問紙法でのアセスメントツールを定期的に行っています。	
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	2		・定期的にアセスメントを行ったうえで、本人のニーズや保護者のデマンドに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			・当日担当者への申し送り。療育前に個別計画の目標や内容を確認することを徹底しています。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2		・症例検討と支援会議の2回行っています。	・非常勤職員がいないときもあるため、話しのすり合わせを当日の担当者に対してその都度行っています。
	14	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	2		・子どもの特性や状況に応じたり、リアルタイムな課題に対してプログラムを提供しています。	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	7	2		・基本的には個別プログラムです。場合によっては小集団となることもあります。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		・朝礼時に子どもの状況や変化点を当日の職員全員が把握できるように話し合っています。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		・当日の支援内容や状況の振り返り、ヒヤリットや情報の共有を行っています。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			・行っています。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・月1回、出来る限り保護者と話し合いをする場を設けています。情報の共有として、相談支援事業所にも情報の提供を行っています。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		・児発管が参加。必要によっては他職員が同行することもあります。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1		・必要時には段階を踏んで他関係機関と連携が取れる状況を作っています。	
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1		・必要時には医療機関へ依頼・連絡をしたり、関係機関と連携を図っています。保護者にも協力してもらうことがあります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか	8	1		・基本的に保護者の方に相談してもらい、その内容を共有しています。必要時には、医療機関や主治医と連絡をさせてもらうこともあります。	
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3		・必要時には相談支援事業所を通して連絡をすることもあります。 ・協力できる体制は整えています。	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3		・必要時には相談支援事業所を通して連絡をすることもあります。 ・協力できる体制は整えています。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			・月1回療育センターからの療育指導を受けるなど連携や助言をしてもらう機会をつくっています。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	・保護者送迎となっています。兄弟児も一緒に来訪するため、その中で交流をする機会があります。	・保育所などとの交流は行ってない状況です。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	3	・自立支援協議会の運営スタッフが在籍しています。都合のつくときには参加しています。	・研修・会議の時間帯が合わないことがあるため、職員全員は難しい。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		・保護者の見学OKです。見学時に子どもの状況や課題について話し合っています。	
保護者への説明等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6	3		・適時、その場での相談や電話、LINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。	
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明しています。	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1		・支援内容の説明を行い、同意していただいたうえで署名してもらっています。	
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	9			・必要に応じて面談だけでなく、電話やLINE等でも相談を受け付けています。	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4	1	・同じ時間帯の保護者同士には交流できるようにしています。 ・同じ悩みを持つ保護者同士で話す機会を作ることもあります。	・保護者会をしたいとは思っていますが、行動には移せていません。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4		・LINEを使用し、月の利用予定、空き状況等をお伝えしています。 ・保護者等からもらった会報なども一斉LINEでお伝えしたりしています。	
	37	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9			・個人情報記載されている書類等は鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	

非常時等の対応	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			・状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	1	・商店街の祭りや屋外の散布などを通して地域住民と交流を行うなどはしています。	・事業所行事や地域住民を招待するなどはしていません。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			・各マニュアルは策定しており、定期的に見直しや研修も行っていきます。	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			・必要回数行っています。保護者も一緒に参加できるような取り組みにもしています。	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1		・薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4	1		・食事の提供は行っていません。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		・終礼時に聞き取りを行っています。 ・対策検討する機会を設けています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			身体拘束当適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	2		・事業所のミーティングで検討し、必要時には部門ミーティング、適正委員会にて検討してもらうようにしています。	